

欧州包装 NEWS

2013 年 1 号(春号)

- powered by interpack -

2013 年に入り、欧州の経済状況は少し安定化に向かう傾向が印象的で、保険会社アリアンツのチーフ・エコノミストのハイゼ氏は、経済不況が今年には終息すると予想しています。このような状況を背景に、欧州包装 NEWS 2013 年 1 号をお届けします。今回のテーマとして、

- * トレンド情報として、RFID によるデータ処理や抗菌性の包装、
- * 産業・企業情報として、包装業界の景況指数、イタリアの包装機械メーカーの見通し、大手ゲレスハイマーとクロネコの戦略、
- * メッセ・イベント情報として、「ドイツ包装賞」、インターパックでのジャパン・パビリオンの設置やケニアで開催される FPPE

を取り上げました。どうぞお楽しみください。

第 1 部：欧州包装業界のトレンド

情報処理に RFID 利用が上昇

消費者を保護するために、ドイツには担当省をはじめとして様々な機関がありますが、消費者も自分で購入する製品に関して数多くの情報を求めています。それは食料品の場合、使われている素材と内容物、あるいは栄養バランスに関する情報です。たばこの場合は規制が厳しくなってきたので、喫煙の危険性についての警告に関心が寄せられます。その事例はたくさんあります。しかし、ヨーロッパでは容器のサイズが小型化する傾向にあるので、情報を提示するための場所が当然少なくなっています。一つの対策として、新技術の利用が挙げられます。例えば、スマホで読める QR コードが普及して来て、消費者が取得したい情報を読み込む傾向が見られます。(日本にも同じ傾向があると思われます。)また、RFID も話題になっています。AIPIA 協会の報道によりますと、Intellex 社と Rehrig Pacific 社がタイアップし、RFID



付の容器を開発しました。その RFID は継続的に容器の温度をはかり、消費者が内容物(食料品など)の新鮮さについて判断することができます。また、ドイツ人が社長である、米国の TempTrip 社が開発した RFID 温度測定タグはクレジットカードのサイズで、5 年間の寿命をもつ電池が装備されています。利用者は温度測定の間隔を自分で設定することができます:一日に一回から、一分に一回までの設定が可能です。しかもその上、タグが再利用可能です。

スクリーンショットの URL : <http://www.temptrip.com/>

データ出典:2012 年 11 月 17 日付け AIPIA ニュースレター、2012 年 9 月 12 日付け NZZ 誌

抗菌性の包装

包装によって、食料品の耐久度をあげようとするのは発展途上国でも先進国でも共通のことです。食料品に関して、「包装」は言い尽くせないほど重要です。言うまでもなく、発展途上国の第一の問題は、食料品が先ず包装されるかどうかですが、次の段階では、包装素材によって食料品の耐久度を延長することです。それについて実施される研究プロジェクトの事例として、抗菌性のプラスチックフィルムを開発する、ミュンスター工科大学の「Safe Pack」研究グループがあげられます。そのプロジェクトには、インターパックの出展企業である 4 社もかかわっています。また別の事例を挙げますと、イスラエルの Oplon 社は PepsiCo 社と提携し、800 万ドル(7億4400万円に相当)程度の研究プロジェクトを発足させました。目的は、抗菌性の包装素材の開発だそうです。成功した場合、食料品の耐久度が大幅に伸び、例えば、牛乳は冷蔵されなくても1ヵ月間飲料可能になります。それにより、クールチェーンが十分機能しない地域でも安全な食料品・飲料の供給が可能になります。

出典: 2013年2月12日付け <http://www.oplon.com/page.asp?page=2709> サイト、
2012年12月4日付け www.kunststoffreport.de サイト、2012年11月17日付け AIPIA ニュースレター

第2部：産業情報

ドイツの包装素材業界が懐疑的

去年の年末、ミュンヘンの IFO 研究所が実施した調査によりますと、ドイツの包装業界の景況指数がほとんどの分野において悪化しています。素材別では、紙・段ボール、プラスチック、ガラスと薄板金の分野の企業は、今後のビジネスチャンス徐徐に懐疑的であると判断しています。例外は、木の素材分野の企業で、2011年末に比べて少し楽観的にみえています。

出典: *Neue Verpackung* 誌2012年11月号

イタリアと中国の包装機械メーカーが好調な業績

イタリア包装機械メーカーの2012年度の売り上げは前年比で 1.6%増加し、44 億ユーロ(5475 億円に相当)に達するとイタリア工業会のシンクタンクが公表しました。その主な原因は輸出であり、全売上高の約 90%を占めます。2011 年に比べますと、輸出の増加率が 2.7%で、売り上げの増加率をはるかに上回りました。

中国の包装機械の市場は、去年も成長傾向を示しました。主にドイツ、イタリアと日本からの輸入が 1.5%増加し、国内の包装機械生産も増え、約 30 億ユーロ弱(3733 億円に相当)に達しました。しかし、最近中国は包装機械の輸出にも力を入れています。最新の統計によりますと、中国の包装機械の輸出は、金額では日本も台湾も追い抜き、アジアで第一位になりました。

出典: 2013年1月24日・16日付け *Verpackungsrundschau* 誌

企業ニュース:ゲレスハイマー社、クロネス社

デュッセルドルフに本社を置き、薬品、医療、ヘルスケア用のプラスチックと硝子容器を生産する、Gerresheimer社は、2012年第3四半期には売り上げを9.2%伸ばし、2012年度は全体的に成長を維持できたため、株主に配当金を支払うことを計画しています。社長のレルホッフ氏のインタビューによりますと、同社は引き続き新興工業国に投資し、そこでの売上高を2013年末までに倍に増加させることを見込んでいます。

包装機械・充填機械メーカー、Krones社は業績改善のため同社を再構成する予定を公表しました。バイエルン州に本社があるKlug社と提携して、今後はKlug社が(今まで赤字を生んだ)「イントラロジスティクス」部門のビジネスを受け持つことになりました。これに対しKrones社はKlug社の株式の26%を購入することになりました。クロネス社の該当部門に属している70人の従業員は、クロネス社内で転属されます。

出典:2013年1月23日付け www.finanznachrichten.de サイト、2013年1月10日付けFAZ誌、
2012年11月19日付けWirtschaftswoche誌

第3部: メッセ・イベント情報

「ドイツ包装賞」:受賞者には日本の花王社も

「ドイツ包装賞」の授賞式がニュルンベルクで開催されたFachpack会期中に行われました。232件の応募プロジェクトのうち、27の受賞者が選出されました。その中には、日本の花王株式会社ドイツ法人、Kao Germany GmbHが提案したヘアスタイリング剤「KMS Messing Crème」の容器も含まれています。おめでとうございます！

出典:<http://www.verpackungspreis.de/praemierte-2012.html>

次回のインターパック:申し込みの締め切りとジャパン・パビリオンの設置



世界最大の包装機械・資材・製菓機材展の出展申し込みの締め切りは、2013年2月28日です。[出展者向けの情報が日本語](#)のインターパックサイトにて公表されています。すでに申し込んでいる企業の数が多くて、各メーカーからの興味が高いため、締め切りが過ぎると出展できなくなる恐れがあります。今月の月末までに申し込んでいただきますよう、お願いします。

また、(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは[フルサービスの「ジャパン・パビリオン」](#)を interpack2014 に設置・運営します。貴社の製品を世界に向けアピールし、新市場を開発するためジャパン・パビリオンへの出展参加をお勧めいたします。出展参加のメリットは、出展費用が単独出展よりも節約、新規単独出展では困難な展示ブースを確保、など。ご興味、ご質問がありましたら、どうぞお気軽に担当の[山本](#)までご連絡ください。

<http://interpack.messe-dus.co.jp/>

メッセ・デュッセルドルフがアフリカで新しい包装機械展を開催



2013年11月26日から28日までナイロビ(ケニア)の Kenyatta International Conference Center (KICC)で「[Food Processing & Packaging Exposyum](#)

(FPPE)」がメッセ・デュッセルドルフと Starling Expo が共同で開催することになりました。

メッセ・デュッセルドルフは世界の主要市場で包装産業展を開催していますが、アフリカで開催するのはこれが初めて、包装産業メッセの新しいメンバーとなります。「Food Processing &Packaging Exposyum」の出展品目プログラムは、充填工程や包装技術からロジスティックに至るまで包装と食品加工の全てを網羅しています。業界大手の Bosch Packaging Technology、Multivac、Fawema の3社はすでに出展参加を決めています。出展者募集は[→こちら](#)からご覧ください。

<http://www.interpack.de/fppe>

欧州包装 NEWS2013年1号、お楽しみいただけましたでしょうか？ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集担当】メルケ 【メッセ担当】山本

info@messe-dus.co.jp

<http://interpack.messe-dus.co.jp>

<http://www.messe-dus.co.jp>

「欧州包装 NEWS」ご不要の方は恐れ入りますが、上記アドレスへ「欧州包装 NEWS 送信不要」とご連絡お願い致します。本メールの掲載情報はメール発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。